

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

RIKKEN
MINSHU
号外

2024年
初夏

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
<http://cdp-japan.jp/>

立憲民主党北海道参議院第2総支部 代表
参議院議員

かつ べ けん じ

勝部賢志

札幌事務所 札幌市中央区大通西5丁目8番 昭和ビル5階
TEL 011-596-7339 FAX 011-522-7975
国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館608号室
TEL 03-6550-0608 FAX 03-6551-0608



2025年参議院議員選挙 北海道選挙区に 勝部参院議員を公認決定

立憲民主党北海道定期大会



立憲民主党道連大会で2期目への決意を述べる勝部賢志代表代行



執行部、衆参国会議員、総支部代表で団結ガンバロー(6月8日)

立憲民主党北海道総支部連合会(逢坂誠二代表)は6月8日、札幌市内のホテルで第5回定期大会を開催、勝部賢志参議院議員(現1)を2025年夏に行われる第27回参議院議員選挙北海道選挙区(定数3)の公認候補に決定しました。今後直ちに党本部の公認が決定する見込みです。

公認決定を受けてあいさつに立った勝部参議院議員は「衆議院議員選挙と連動して全力を尽くす」と決意を述べ、党员、道民に支援を呼びかけました。

あいさつの中で勝部参議院議員は、初当選から現在までの5年間で北海道の人口が16万4000人減少したことや小中学校の統廃合で小学校93校、中学校38校が無くなったこと、9500の中小企業が廃業し、農業者が4700、漁業者1500減少したことなどを上げ、「この状況がこれからも続くことを危惧している」とし、「これらの課題に引き続き全力で取り組まなければならない」と2期目への意欲と決意を語りました。

反省無し 全容解明無し 抜本的法改正もやる気無し 自民党・裏金政治を徹底批判

予算委員会で岸田首相を追及 「首相自身にも重い処分が筋」

自民党の主要派閥がこぞって行っていた裏金づくりは政治資金規正法違反、所得税法違反（脱税）の疑いに加えて、用途によっては公職選挙法違反の疑いもあります。金権政治は、国民全体のために行われるべき政治が、カネを提供する大企業や富裕層に有利なようにねじ曲げられることを意味します。裏金問題は、その金権政治が、有権者に隠れて違法かつ大規模に行われていたことが明らかになったものです。立憲民主党は衆参両院の



岸田首相を問いただす勝部賢志参議院議員(予算委員会)

予算委員会や政治倫理審議会で政府与党を徹底追及、勝部賢志参議院議員も3月25日、予算委員会で質問に立ち、岸田首相を厳しく追及しました。

全容解明なき幕引きは認められない

この日は自民党内の処分で見えてきたタイミングだったことから、勝部賢志参議院議員は裏金問題の全容解明なき幕引きは認められないと追及しましたが、岸田首相が曖昧な答弁を繰り返したことから、勝部議員は「間違っても、うやむやの中で処分をしていくことは絶対にやらないように」と強く牽制しました。

この他、岸田派の会長だった首相自身にも役職相応の重い処分が下されるべきであること、裏金議員は裏金を雑所得だったと認めて道義的、政治的な責任として自ら納税申告をすべきであることを指摘し、岸田首相の見解を質しました。

教員なり手不足に「名案なし」!? やる気ない大臣に解決策示す

勝部賢志参議院議員は続いて教員のなり手不足問題について取り上げました。昨年9月の大臣就任会見で教員のなり手不足について問われて「正直、名案はございません」と平然と答えていた盛山文科相に対して、「やる気も責任感も感じられない。自ら身を引いてもらいたい」と辞任を促した上で「これを取り組めば解決できる」として、教員の時間外勤務手当を支給しない根拠となっている給特法の改正と、教員の定数改善（増員）をあらためて求めました。

人へ未来へ まっとうな 政治へ

CDP
The Constitutional
Democratic
Party of Japan
立憲民主党